

参加費  
無料

## 農業の経営承継セミナー（指導者向けセミナー）

経営承継を進めていくには個々の経営体だけでは限界があり、地域が一体となって、農地資源や技術の継承に取り組む必要があります。

このセミナーでは、様々な地域での取組や、承継事例を紹介し、どのようにしていったらいいのか、そのヒントを提示していきます。

### 日時・場所

令和6年1月26日（金）13:30～15:30（開場13:00）

青森県総合社会教育センター 大研修室（青森市大字荒川字藤戸119-7）

（YouTube Liveによるオンライン配信あり）

※ 冬季のため駐車場の使用台数が限られています。可能な方はお車相乗り又は公共交通機関にてお越しいただきますようお願いします。

### 対象者

- 経営承継を地域で推進したい農業者・農業委員・農地利用最適化推進委員の方
- 行政機関やJA所属で、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方
- 農業者等からの経営承継に係る相談に対応される方

（市町村担当者、農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、金融機関担当者、税理士、中小企業診断士、一般農業者、農業法人担当者、県担当者など）

### 登壇者

#### 基調講演「経営承継の地域での取組の意義と事例紹介」



木之内 均 氏（有限会社木之内農園 代表取締役会長（熊本県））

東京都生まれ、非農家出身。

大学卒業後、熊本県内で新規就農。有限会社木之内農園を創業し、6次産業化などの多角的経営を実践するほか、日本初の農業者が中心となった農業人材育成団体「NPO法人九州エコファーマーズセンター」を設立し、新規就農者の育成に尽力している。

同センターでは理事長を務め、第三者承継の支援に取り組むとともに、自らが創業した農業法人を、親族外の第三者に事業承継している。

現在、東海大学九州キャンパス長、NPO法人熊本県就農支援協議会理事長などの役職を務め、日本農業のリーダーのひとりとして活躍している。

#### 事例紹介「知人から果樹の第三者承継を受けました」



三井 公司 氏（ドリームファーム株式会社代表取締役社長）（山梨県）

山梨県甲州市生まれ。県外の大学を卒業後、都内のシステム開発会社にシステムエンジニアとして就職。20代後半で地元山梨に帰郷。ウェブデザインや広告プロモーションを行う会社を経営する一方、農業システムの開発に参画することで農業に興味をもち、農家の知人から農地を借り2013年、実際にぶどう栽培を開始。3年後の2017年に農業法人として別法人を設立。現在、農業事業では承継した農地や、近隣農家から借りるなどで約1.5haの農地で桃と葡萄を栽培をしている。農業事業以外にも、山梨大学や山梨県・広島県などの自治体と共同でスマート農業事業を展開、他に甲府市内で飲食事業を運営している。

# パネリスト 山内 明男 氏（J A青森浪岡地区新規就農受入協議会前会長（青森市浪岡））



青森市浪岡出身。父から受け継いだりんご園「山内園」で40年以上りんご栽培に取り組む。4年前、膝の不調をきっかけに承継を考え始め、子供達は継ぐ予定がなかったことから、第三者承継を検討していたところ、りんご収穫のアルバイト募集で後の後継者となる人物と出会う。同時期に、J A青森が、経営を譲りたいりんご農家の経営資源や栽培技術を新規就農者に伝承することを目的に「J A青森浪岡地区新規就農受入協議会」を設立。山内氏が初代会長に就任。協議会の制度を利用し、後継者候補に1年間の研修を行った後、令和4年4月に園地の一部を承継。今後、残りの園地も徐々に引き継いでいく予定である。

## 内 容

経営承継の支援者・実践者による基調講演、事例紹介のほか、県内での普及拡大に向けたパネルディスカッションを通じて、理解を深めます。

	内 容	登壇者
13:30	開会・主催者挨拶	
(30分)	<b>基調講演</b> 演題「経営承継の地域での取り組みの意義と事例紹介」	<b>木之内 均 氏</b> 有限会社 木之内農園 代表取締役会長 東海大学 九州キャンパス長
(25分)	<b>承継事例紹介</b> 演題「知人から果樹の第三者承継を受けました」	<b>三井 公司 氏</b> ドリームファーム株式会社 代表取締役社長（後継者）
休憩		
(45分)	<b>パネルディスカッション</b> 演題「経営承継の推進に向けて、地域が取り組むべきこと」	コーディネーター <b>竹本 太郎 氏</b> (日本政策金融公庫青森支店農林水産事業統轄) パネリスト <b>木之内 均 氏、三井 公司 氏、山内 明男 氏</b>
15:30	閉会・アンケート記入	

## 申込方法

**申込期限：令和6年1月18日（木）**

必要事項をご記入の上、下記セミナー事務局までFAX等でお申し込みください。  
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにメール本文にご記入ください。

**申込先：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進G 宛て**

**FAX 017-734-8136 E-mail nouchikatsuyou@pref.aomori.lg.jp**

## お申込用紙

所 属	
氏 名	
参加方法	①会場参加      ②オンライン参加      （該当する方に○）
電話番号	
メールアドレス	※オンライン参加の方は必ず記入願います。後日、視聴用URLをお知らせします。

■主催：青森県      ■後援：日本政策金融公庫 青森支店

■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO) (TEL：03-6684-1015/担当：高田) にあい

事務局：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進グループ (TEL：017-734-9462/担当：新相)